

## 再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	農業農村整備事業（水環境整備事業）				
地区名	みやたどうすいるにき 宮田導水路2期地区				
事業箇所	江南市				
事業のあらまし	<p>江南市の北部に位置する宮田導水路は、8市2町の受益面積約27,000haの農業用水を供給する施設として、尾張北部及び尾張西部地域の農業の発展に大きく貢献してきた。しかしながら、水路周辺の都市化・混住化の進行に伴い、家庭雑排水等の流入による水質汚濁や、ゴミの投棄等により農業用水の安全・安定通水に障害が発生していた。このため、農業用水の水質改善や安定的な用水確保を目的として、導水路を用水と排水に分離するとともに暗渠化する工事が進められている。</p> <p>一方で、改修前の宮田導水路は、開水路であったことから、身近な水辺空間として周辺住民に親しまれてきたが、暗渠化に伴い水辺空間がなくなるとともに、暗渠化された導水路の上部は未利用地となり、今後、雑草の繁茂等による周辺環境の悪化や施設管理に支障を来すことが地域住民から危惧されていた。</p> <p>このため、古くから身近な水辺空間としても親しまれてきた宮田導水路の上部を利用して、自然環境や農村景観等に配慮した整備を実施し、地域住民の余暇活動の場・潤い・安らぎ・憩いの空間として広く開放することにより、農業水利施設に対する地域住民の関心を一層深め、住民参加による施設の保全・管理活動や都市と農村の交流活動を促進し、地域社会の活性化を図ることを目的として、平成26年度から水環境整備事業を実施し、平成36年度に完了する予定である。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】 農業水利施設及び農村環境の保全を図り、豊かで潤いのある生活環境を提供する。</p> <p>【副次目標】 —</p>				
計画変更の推移		事業採択時 (H26)	再評価時 (H30)	変動要因の分析	
	事業期間	H26～H31	H26～H36	事業進捗の遅れ	
	事業費（億円）	7.9	7.0		
	内訳経費	工事費	7.4	6.5	
		用補費	-	-	
その他		0.5	0.5		
事業内容	親水景観保全施設 1式 ・景観舗装 等  生態系保全施設 1式 ・植栽工 等  利用保全施設 1式 ・遊歩道 5,690m 等	親水景観保全施設 1式 ・景観舗装 等  生態系保全施設 1式 ・植栽工 等  利用保全施設 1式 ・遊歩道 5,690m 等			

II 評価																																																																																																																				
① 業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事業評価時の状況】</p> <p>水路暗渠化に併せて修景・親水空間、遊歩道の整備に対する地元の要請に応え、地域住民に広く開放することにより、住民参加による施設の保安全管理活動や交流活動を促進し、地域社会の活性化を図る必要があった。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>地域交流活動の拠点として自然環境や農村景観等に配慮した整備を実施し、将来にわたり農業水利施設や農村環境を保全する必要がある、整備の必要性は事業採択時とほぼ同程度と考えられる。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>周辺環境にほとんど変化はなく、事業の必要性について変化はない。</p>																																																																																																																		
	判定	<p><b>B</b></p> <p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。            B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。            C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p> <p>【理由】</p> <p>周辺環境は大きく変化しておらず、事業の必要性は事業着手時と同等であるため。</p>																																																																																																																		
② 事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> <th>H36</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>当初計画</td> <td colspan="4">7.0</td> <td colspan="2">0.9</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="4">1.0</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="4">1.0</td> <td colspan="4">5.0</td> <td colspan="2">1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>達成率(%)</th> <th>計画</th> <th>進捗率(%)</th> </tr> <tr> <th>[①]</th> <th>[②]</th> <th>[②÷①]</th> <th>[③]</th> <th>[②÷③]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>遊歩道(km)</td> <td>5.69</td> <td>0.95</td> <td>16.7%</td> <td>5.69</td> <td>16.7%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>7.9</td> <td>1.0</td> <td>12.7%</td> <td>7.0</td> <td>14.3%</td> </tr> <tr> <td>  工事費</td> <td>7.4</td> <td>0.9</td> <td>12.2%</td> <td>6.5</td> <td>13.8%</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>0.5</td> <td>0.1</td> <td>20.0%</td> <td>0.5</td> <td>20.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】</p> <p>遊歩道 L=950m</p>			H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	工種区分	調査・設計	←										→	工事			←								→	事業費(億円)	当初計画	7.0				0.9							実績	1.0											今回計画	1.0				5.0				1.0			これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画	実績	達成率(%)	計画	進捗率(%)	[①]	[②]	[②÷①]	[③]	[②÷③]	遊歩道(km)	5.69	0.95	16.7%	5.69	16.7%	事業費(億円)	7.9	1.0	12.7%	7.0	14.3%	工事費	7.4	0.9	12.2%	6.5	13.8%	その他	0.5	0.1	20.0%	0.5	20.0%
			H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36																																																																																																							
工種区分	調査・設計	←										→																																																																																																								
	工事			←								→																																																																																																								
事業費(億円)	当初計画	7.0				0.9																																																																																																														
	実績	1.0																																																																																																																		
	今回計画	1.0				5.0				1.0																																																																																																										
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																
	計画	実績	達成率(%)	計画	進捗率(%)																																																																																																															
	[①]	[②]	[②÷①]	[③]	[②÷③]																																																																																																															
遊歩道(km)	5.69	0.95	16.7%	5.69	16.7%																																																																																																															
事業費(億円)	7.9	1.0	12.7%	7.0	14.3%																																																																																																															
工事費	7.4	0.9	12.2%	6.5	13.8%																																																																																																															
その他	0.5	0.1	20.0%	0.5	20.0%																																																																																																															
2) 未着手又は長期化の理由	事業計画通りの予算確保ができなかったため、事業期間を延長した。																																																																																																																			
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <p>なし</p> <p>【今後の見込み】</p> <p>今後、予算確保に努めながら事業進捗を図り、予定工期内の完了を目指す。</p>																																																																																																																			

判定	B	<p>A： これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B： 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>○ これまで事業長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・ これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> </ul> <p>C： 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>
	<p>【理由】</p> <p>今後、阻害要因もなく計画通りの完成が見込まれるため。</p>	
III 対応方針		
<b>継続</b>	<p>中止： 上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続： 上記以外のもの。</p>	
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象（事業完了後5年目）    □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の維持管理状況</li> <li>・ 施設の利用状況</li> </ul>		